

市立五條文化博物館 平成19年度春季特別展 「五條名物探検—地場産業からふるさとを追う—」



■申込・問合せ先 市立五條文化博物館 ☎24・2011

4月28日(土)開幕

○記念講演会

- 日時 5月20日(日)午後2時～3時30分
- 場所 市立五條文化博物館1階研修室
- 定員 50人(事前の申し込みが必要です)
- テーマ 「大塔の杓子づくり」
- 講師 森本仙介先生(奈良県立民俗博物館主任学芸員)

○展示解説

担当学芸員が展示をご案内します

- 日時 4月29日(日)、30日(月)、5月3日(木)～6日(日)、
27日(日)、6月10日(日)
午後2時～2時30分
- 場所 特別展会場

○「肥後守」で鉛筆を削ってみよう

小刀で鉛筆を削ってみませんか(危険はありません)

- 日時 4月29日(日)、30日(月)、5月3日(木)～6日(日)、
27日(日)、6月10日(日)の随時(展示解説の時間は除く)
- 会場 特別展会場

特別展は6月10日(日)まで開催

新町と松倉豊後守重政

まつくらぶんごのかみ しげまさ

第1回

「新町と松倉豊後守重政 400年記念事業について」

五條市民の皆様 こんにちは

新町と松倉豊後守重政(まつくらぶんごのかみ しげまさ)の関係について、市民の皆様はどれほどご存じでしょうか。実はかく言う私も、ほんの数年前まではおぼろげな知識しか無かったと、正直に申し上げねばなりません。ですから、市民の皆様のかかなり多くの人、ことに若い人たちが、「なんじゃそれは」と疑問を呈されても何の不思議もないことです。

しかし、この新町と松倉豊後守重政の出会い、そしてその後400年を刻んだ新町の歴史を知ることが、まずは皆様知覚的興奮を呼び起こしてくれることと思いますし、同時に、五條には他所に誇れる素晴らしい歴史があったのだと、きっと郷土愛、そして市民としての自負に目覚めていただけるだろうと確信をしているところです。

今回より毎月この紙面をお借りして、松倉豊後守重政の活躍や新町の歴史について、少しずつではありますが、ご紹介させていただく予定です。そして、来年の平成20年(2008)は記念の年となります。昨年11月標記の委員会が立ち上がりました。委員会は現在記念の年に向けて、さまざまな事業を計画し実行していく予定であり、そのための議論を続けているところです。この紙面を通じてまた、ホームページ(「新町と松倉豊後守重政」[http:// www.gojo.ne.jp/matsukura/](http://www.gojo.ne.jp/matsukura/))でも紹介させていただきますが、市民の皆様にも是非ともその、400年記念事業に参加していただき、ともに手を携えて平成20年、400年記念の年を迎えたいと存じます。どうか、ご支援よろしくお願ひいたします。

次回の本誌コラムでは「新町と松倉豊後守重政」の関係を具体的に述べさせていただきますが、徳川家康の命を受けて、大名として二見城に入城した、松倉豊後守重政は武勇に優れていただけでなく、多才有能の人であり、新町の生みの親であったと付け加えておきます。次回乞うご期待。

(新町と松倉豊後守重政400年記念事業実行委員会委員長 榎野久春)